

住宅確保要配慮者向けセーフティネット住宅に付帯するバディの普及活動(空き家・空き地の相談センター)

課題	バディ制度のノウハウの公開と地域や全国への水平展開
目的	空き家を住宅確保要配慮者が入居しやすい住宅に利活用すること そのためにバディを付帯するとともに、そのノウハウを全国に公開する バディとは、入居者と空き家オーナーや近隣住民の間に立って、コミュニケーションを図る相棒・仲間と位置付けている ※今回対象とする住宅確保要配慮者は、 ①障がい者 ②シングルマザー ③外国人 ④高齢者
取組内容	①バディ育成講座コンテンツ制作 ②市民向け・企業向け講座開講 ③バディ育成講座公開 全7回講座をYouTubeにて公開
成果	①バディ育成講座コンテンツ制作 視聴者がいつでもどこでも見られるように、コンテンツとして制作したレジュメは、画像収録時の台本として、必要に応じて画面に表示することとした ②市民向け・企業向け説明会開催 バディ制度説明のための市民向け講座・企業訪問を実施。4名のバディ登録を得た ③育成講座公開すべて完了 全7回の講座をYouTubeに掲載中

【取り組みの概要】

① バディ育成講座テキスト制作

- ・ 外国人介護技能実習生受け入れ監理団体の代表、障がい者グループホーム経営者、シングルマザーシェルター運営NPO法人社員が執筆したテキストを基にした講座を撮影・収録完了。講師は連携先団体の専門家に依頼した。
- ・ テキストは、視聴者が誰でもいつでも気軽に見られるように、収録した画像に必要な箇所だけを表示し指示書として利用することとし、紙ベースでは用意しないこととした。

第1回 『空き家の現状と問題点』

第2回 『バディを付帯した住宅確保要配慮者向け住宅について』

第3回 『外国人向け賃貸住宅の注意点』

第4回 『障がい者向け住宅の注意点』

第5回 『シングルマザー向け住宅の注意点』

第6回 『高齢者に賃貸するときの注意点』

第7回 『活躍するバディをご紹介』

②高浜市民および市内企業向け地域講座開催

1) バディ制度説明会用の冊子(市民向け300部・企業向け200部)を作成

2) 市民向け講座告知

高浜市広報に折込(16,000枚)ほか企業等へ手配り計20,000枚

12月1日、12月11日、1月8日講座開催

外国人住民を含め個人・企業計56名参加

※単なる座学ではなく、「あなたも今日からバディさん、バディ体験してみませんか？」として、実際に外国人と過ごす時間を作ることで参加者の評価を得ることができた。

※高浜市多文化共生コミュニティセンターと共催することで信頼度を上げることができた。

バディさん募集	外国の人のバディを体験してみませんか？
3歳から70歳代までの バディさんが高浜市で 活躍をしています。 お気軽にご参加ください。	12月11日(土) 9:30-11:30 (定員 5名) 1月 8日(土) 9:30-11:30 (定員 5名) 9:30～ バディオリエンテーション 10:30～ バディ体験 場所: 高浜市多文化共生コミュニティセンター つなぐ

① バディ育成講座のオンライン公開

バディ育成講座の公開・配信をYouTubeで行う。現在公開中。

https://www.youtube.com/channel/UCc9P_jkQHRM0lwdl7U5tnsA

または「空き家・空き地の相談センター」ホームページから。

オンライン講座

セーフティネット住宅としての空き家活用

～バディ制度の解説など全7回～



令和3年度 国土交通省『住宅市場を活用した空き家対策モデル事業』

空き家・空き地の相談センター

【成 果】

①③バディ育成講座テキスト作成と収録・公開

現時点でアクセス数は少ないが、バディ制度を運営するうえで必要な情報を公開し、全国に水平展開したことで、全国で同様の取り組みが増えることが期待される。

②高浜市民および市内企業向け地域講座開催

1) 講座参加者のうち、バディ体験イベントから4名のバディ登録を得た。

2) 昨年、空室を所有するオーナーに対して、バディ制度に関するヒアリングを行ったが、そのオーナー所有のアパートから2棟のバディ付き賃貸アパートが実現した。

うち1棟は社宅として賃貸していたが、空室が増えたためバディ付きに転用したもの。

5. 今日からバディさん

1 バディさんって何をする人？

バディとは、英語のBUDDYと同じ意味で「相棒」「仲間」などの意味があります。外国の人々は、生活や文化の違いで地域社会に馴染みずれています。バディはそんな外国の人々にちょっとしたお世かけを施しながら、ともに暮らす仲間として顔見知りの関係を作り、ゆるやかにつながりながら関係を作ります。国籍、年齢を問わず多様な人々がゆるやかにつながり、お互いに助け合う関係を作ることが、私たちの目指すバディのあり方です。

バディさんは先生
ではありません

バディさんは
指導者では
ありません

バディさんは
アドバイザーでは
ありません

2 LET'S TRY! 「私ならどうだろう?」

いきなり外国の人のバディをするのはとても勇気のいることです。
まずはイメージトレーニングから始めていきましょう。



あなたは住みなれた土地を離れ
知らない国の知らないまちに暮らす
ことになりました。知り合いもいません。
言葉も通じません。誰にどのように
声をかけていいか、わかりません。
今、あなたはどんな気持ちでしょうか？



7室の内訳

1. パキスタン人親子(夫婦と小学生2人)
2. ペルー人親子(父と中学生の娘)
3. ブラジル3世代親子(親、子、孫)
4. 単身日本人 → 2022年2月末に転出、ベトナム人女性が入居予定
5. 単身日本人
6. 7. インドネシア人技能実習生(バディを兼ねている)

■ 6. 7が従来からのバディ制度を知っている入居者なので、バディも十分機能し、とてもうまく共生できているアパートになっている。

■ バディ付き賃貸アパートは、一棟丸ごとバディ付きになるため、戸建てと違い多くのバディを必要としない点で効率的な運営ができることとなった。

■ 告知の点でも、外国人の入居者がいてもバディが付帯していることが知られるため、入居者の募集もスムーズに行うことができる。

■ 戸建ての場合、オーナーが賃貸することから決断しなくてはならないが、賃貸アパートや社宅は従来から賃貸されていたため、バディ制度について理解してもらうだけで実現できた。

【今後の展開】 賃貸アパートの空室対策としてバディを付帯することをオーナーに提案することが有効。